広報

いまかね



いいものあるヨ
ぼくらの作品

縫ぐるみ、手芸品、マカジンラック、状差し、飾り棚、ペンダントなど約五百点、どれをみても小、中学生が作ったと思われないようなりっぱな作品がズラリ。

十二月二十一・二日の二日間、農協デパート特設売場で第三回桧山北部特殊学級作品展示即売会が開かれました。

これは、ちえおくれの恵まれない子どもたちが、一生けんめい作ったものを広く紹介し、精薄児施設の建設に少しでも役だてようーと、今金小、中学校、今金町手をつなぐ親の会が主催して行なわれたものです。

会場には、まちのおかあさんがたや、子どもたちも見学にきていましたが、廃物利用のものや手が込んだクマ彫りなどにビックリした表情。飛ぶような売れゆきでした。

'71年
1月号
No.151

住みよい町づくりを

町長 安部義雄



輝かしい希望に溢れる新春を迎え、町民の皆さんのご多幸を心から祈念いたします。

昨年は、万博一色で人類の進歩と調和のもとに多くを学び、わが国古来の伝統が広く紹介され、世界はひとつの感を深めましたことは、ご同慶に存じます。

一面、国は外交、内政ともに多難で、なかんずく経済、文化の進歩に伴い、公害問題、交通安全対策などの緊要事は、国民生活の安全をおびやかし、また、自然も破壊されてゆくなど寒心にたえません。

新春の課題は、これらの社会情勢に正しく[illegible]して、発展と生活の調和を図ることが重要と考えられます。

申し上げるまでもなく、地方自治体本来の使命は、明るく住みよい豊かな生活環境の実現であります。

五年後に迫る青函トンネル開通時に備えて、みなみ北海道に眠る豊かな天然資源の開発をはじめ、地方広域圏の設置を急ぎ、農政、商工振興、文教施設整備、青少年育成強化、保健衛生、さらに観光開発などを基幹とする今金町総合計画を策定し、町民の高生産、高福祉社会の実現をスローガンに、町ぐるみで取り進めてまいりたいと思います。

今後の町づくりには、過去の実績にかんがみ、およそ百億円の国費導入が必要ですが、財政多難のおり既に本道優遇策も次第に薄れ府県並みに助成率の引き下げが論じられて、将来の町財政に与える影響が極めて大きいものと予想されます。

したがって、町勢発展の過程にあっては、一段と町政の信頼を高め、さらに決意を新たにして精進を誓うものであります。

町民各位のいっそうのご協力とご健闘を祈念して、年頭のごあいさつといたします。

新年を迎えて

議長 曽我井定一



昭和四十六年の年頭にあたり議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

この年を真に本町産業経済の発展と町民福祉向上の年にするため町民各位とともに努力をいたしたいと念願するものであります。

昨年は、本町の基幹産業である農業において、気候の不順にもかかわらずほぼ順調な収穫を得られましたことは、生産者各位のご努力の結果でありまして深く敬意を表するものであります。

しかしながら、米作をとりまく諸情勢は特にきびしく、そのなかにあって当地方が米作適地としての主産地形成の位置づけをなされることが強く望まれるところでありますので、関係機関とともにこの運動をさらに推進し、畑作、酪農振興対策をあい合わせて、生産基盤の安定と充実に努力しなければならないものと存じます。

町の行政各般にわたっては、町民各位のご理解と町理事者のご努力により、財源の活用に努め、国、道の施策と相まって諸事業が行なわれておりますが、社会の急激な進展に伴って広域行政、過疎対策、交通安全対策など新たな需要が増大しておりますので、これらに対する諸施策の推進と財源確保については、地方六団体を通じて政府に対し強く要望を続けているものであります。

わたしどもは、住民の意思を代表するものとして常に世論の現状をはあくし、時代に即応した総合的住民意思の町政反映に努力を重ねたいと存じますので、今後とも一層のご支援を賜わりたいと存じます。新春を迎えるにあたり皆さまのご多幸をお祈りいたしましてごあいさつといたします。

聖火ランナーに声援しよう

札幌オリンピック冬季大会まであと一年。オリンピックの際には、ギリシャのオリンピアで採火した聖火が札幌までリレーされます。

この聖火リレーを円満に行なうために、ことし一月二十日から二十九日まで道内の本大会と同じコースでリハーサルが行なわれます。

今金町もこのコースに入っており、一月二十三日に通過の予定となっています。

聖火は、北桧山町から受け継ぎ、国道二七七号線三十六・三キロを八区間に分けて、長万部町に引き継ぎます。

このうち、今金、種川、花石の密集地を五二キロを走者で、残り三十一・一キロを自動車で走行します。

走者は、一区間につき正走者一人、副走者二人、補走者十人以内となっており、町内でスポーツを愛好する十五歳から二十歳までの男女五十二人が選ばれました。

街を走る聖火ランナーには、おおいに声援をおくってください。

議会の動き

第四回定例町議会は、十二月二十三、四日の二日間開かれ、補正予算四件、条例制定六件、監査委員の選任同意の十一件を審議し、いずれも原案どうり可決、また、昭和四十四年度一般会計など五件の決算認定は、決算特別委員会に付託されました。

町長からは、今年度各事業の進渉状況、国保事業、広域圏行政の確立などの行政報告がありました。

この議会で決まったおもなことは、次のとおりです。

一般質問

町政に対して二議員から一般質問があり、町長、教育長からそれぞれ回答が述べられました。おもな内容は次のとおりです。

◇国の総合農政計画をどう受けとめ、本町の農業の方向づけは＝国の方針にはできるだけ近づけるが本町の立地条件から国営かんばい酪農を中心に推進する。

◇下水溝など市街地の環境整備、都市計画事業の推進は＝チッタウシナイ川や下水溝の改修、整備など四十六年度から三、四年計画で推進する。また、公害をださないよう自然をたいせつに都市計画を進める。

◇医師の招へいなど国保病院の整備は＝基幹病院、道立病院などを研究し、施設を充実することにより外科医の確保を図る。

◇義務教育の学力向上対策は＝へき地の小規模中学校では教育効果が期待できないので、四十七年度から統合を実施するよう努力中である。また、教師の研究サークル活動を活発にし、教材教具も充実していく。

◇過疎現象が進んでいるがその対策は＝広域市町村圏の設定、山村振興事業の推進などを中心に住みよい町づくりを進める。

◇美利河ダムの設置計画は＝第一次、第二次調査では立地条件などの点で結論がでなく、来年後も調査が進められる見通しだ。もう少し具体化してから町全体としての対策を考えたい。

◇予防接種体制の整備は＝医師の不足により不便をかけているが、保健所とも連絡をとり、町民もれなく接種できるようサービスに努める。

河川改修費など追加

第四回定例町議会

◇昭和四十五年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ二千二百九十八万円が追加され、予算総額は五億八千六百八十六万二千円になりました。

追加のおもなものは、第一幹線川第二支線改修工事などの河川改修費に八十三万八千円、開拓者離農対策事業補助などの農業振興費に百十四万八千円、八束小給水施設工事などの学校管理費に百二万三千円、スキー場用地購入や庁舎修繕料などの財産管理費に二百五十六万一千円のほか、給与改正に伴う人件費などとなっております。

また、稲穂地区道営ほ場整備事業に伴う幹線農道事業負担金九十八万三千円などが減額されました。

これに対し歳入は、地方交付税が一千九百四十七万七千円、繰越金二百四十二万八千円などが見込まれ、町債百二十万円などが減額されました。

◇国民健康保険会計事業勘定補正予算

助産給付費五万円など百八十四万円が追加され、総額八千六百七十万円になりました。

◇国民健康保険会計施設勘定補正予算

医業費用に九百五十五万円、機械備品購入に二百三万七千円などが追加されました。

◇簡易水道事業会計補正予算

給水工事費の五十二万五千円など百二十三万一千円が追加され、総額八百九十一万四千円になりました。

生活改善センター設置条例を制定

次に制定されたおもな条例をあげます。

◇今金町生活改善センター設置及び管理に関する条例の制定

鈴金生活改善センターの設置に伴って、その効率的な運用と管理を図るために定められました。

◇町職員の給与条例の一部改正

人事院勧告に伴う国家公務員に準じて町職員の給料と諸手当が、改善されました。

また、住居手当も新設されました。

◇特別職及び議会議員の期末手当の支給方法に関する条例の一部改正

特別職と議会議員の期末手当の支給率が引き上げられました。

監査委員に小岩隆一氏を選任

◇監査委員の選任同意

一月三十一日任期満了になる友善幸次郎氏に変わって、小岩隆一氏（種川）が選ばれました。

◇陳情、請願

昭和町、柳町の舗装についての陳情は建設委員会に付託され、統合高校の間口減に反対する請願は総務委員会に付託されました。

“忘れていませんか”

昨年12月に町内の5分の1の世帯にお願いしていた住民意向調査の回収率は現在約50%です。

今金町の長期的な総合計画を策定するためのたいせつな基礎資料になるものです。

忘れている人は、至急郵送してください。

道民のみなさま、明けましておめでとうございます。希望に輝く昭和四十六年の新春をみなさまとともにお祝いできますことは、このうえないしあわせであります。

昨年の本道は一部において集中豪雨などによる農作物の被害をみたのでありますが、産業経済は全般的におおむね順調な進展をみたことは、ご同慶にたえません。しかしながら農業においては、全国的に米の過剰による生産調整の実施というかってない難局に直面し農民に多大の心労を煩わしたのでありますが、今後は、適地、適産の原則に基づく生産性の高い農業を確保するため、農民各位とともにいっそうの研究と努力を重ねてまいらなければならないと存じます。

さらに、道民の心からなる願いも空しく、交通事故の死亡者数はついに全国一という痛ましい記録をつくり、また、エネルギー需要の変動に伴う炭鉱の終閉山、各種の公害など、憂慮すべき問題が顕著になってまいったのでありますが、私は道民のみなさまと相たずさえて、これらの課題の解決のため積極的な努力を重ねてまいる所存であります。

さて、本年は、第三期北海道総合開発計画が発足する重要な年にあたります。ご承知のとおり、この計画は北海道二世紀の進路を切りひらくという重要な意義をもつのでありますが、生産と生活が調和する豊かな北海道を築き、わが国の繁栄に先駆的役割を果たすことができるよう、道民のみなさまの積極的なご努力を期待してやみません。

また、国民多年の念願である北方領土の復帰については、国民の間にようやく関心が高まってまいりましたが、今後ともいっそうその機運を促進してまいりたいと考えます。

さらに、道民待望の札幌オリンピック冬季大会も一年後に迫りましたが、この成功を期するため、道民各位とともに格段の努力を重ねてまいりたいと存じます。

第三期北海道総合開発計画の発足という意義深い年頭にあたり、本道の飛躍的発展のため全道民がさらに決意を新たにされ精進されますことを念願し、ここに道民みなさまのご健勝をお祈りして年頭のごあいさつといたします。

年頭にあたって

北海道知事　町村金五

判断力が鈍ります

飲酒運転は絶対にやめよう

冬期間は、道路が凍ってスリップしやすく、また、わだちができてハンドルをとられるなど、交通事故が起きやすくなります。

そのうえに、酒を飲んで運転するということは、確実に事故を起こすことになり、死亡やおおケガなどおおきな事故につながります。酒を飲んで運転しますと、

▽歩行者や道路標識、障害物などを見落としたり発見が遅れる。
▽運転操作が鈍くなり、とっさの反応時間が遅れる。
▽スピード感が鈍り、カーブや坂道などでもスピードをゆるめることができない。



▽車間距離感がなくなり、追突事故を起こしやすい。

このように、飲酒運転はたいへん危険なものです。運転者自身の自覚が必要なことはもちろんですが、家族や友人、同僚など、まわりの人たちの自覚もたいせつです。

運転する人には、絶対に酒を飲ませない。また、飲んだときには車のキーを預かることも必要です。

お酒の魅力は、なかなか断ち切れないものですが命にはかえられません。飲酒運転は絶対にやめましょう。

■■■■■ 学校防火に協力を ■■■■■

各家庭では火災予防にじゅうぶん注意されていることと思いますが、各学校においても全職員一丸となって努力しています。

万一学校が火災になりますと、多額の財産が灰になるばかりでなく、児童、生徒にも大きな損失を与えることになります。

しかし、学校は広く一日数回の巡視や一人の日宿直員では、目の届かない場合もあります。このため、日ごろから児童、生徒に対して防火について繰り返し指導をしておりますが、町民の皆さんも学校付近を通りかかったときなど、異常がないかどうか気を配っていただきたいと思います。

もし、異常がありましたら、直ちに学校、消防団本部にご連絡くださるようお願いします。

（町内小中高校）

紺谷さん、青年のつどいに出席



全国の成人の代表が一堂に会して成人の日を祝う第二十二回目の『青年のつどい』に、北海道の女子を代表して、本町の紺谷悦子さん（光台・写真）が選ばれ出席します。

これは、総理府と東京都が主催して十五日に東京の日比谷公会堂で開かれるもので、皇太子殿下、内閣総理大臣も出席され、井上靖氏（作家）の記念講演も催されます。檜山管内からは、初めての出席です。

生活に密着した要望

主婦と町長が話し合い

身近かな生活の問題について町長と面談を希望していた町内各地区の子ども連れのご婦人五人が、十二月十二日に役場へ来庁。約三時間にわたってなごやかなうちにも熱心な話し合いが行なわれました。

家庭を守る立場の主婦だけに日常生活に密着した質問、要望が多く出されました。

これに対する町長の回答は次のとおりですので、関係住民のかたがたにお知らせします。

▽じんかい処理について

①美利河、花石地区市街地に破損ガラス類などを捨てる大型ゴミ箱を設置する。

②現在、特別清掃区域外でこれに隣接する地区（美升の一部など）は、明年四月以降町でゴミ収集を行なう。



熱心な話し合い

▽患者輸送車について

①発進時（起点）にスピーカーなどで合図をして乗り遅れのないようにする。

②運行予定日が祝日などのときは、繰り下げて運行する。

③負傷、出産など緊急の際も利用できる。

▽その他

辺地交通確保、予防接種、し尿処理、除雪などについて話し合いがもたれました。

家のまわりの雪は自分で処理を

ことしの市街地の雪捨て場は、昨年と同じく今金橋東側二百㍍の場所です。

町では、除雪に万全を期していますが、みなさんの家のまわりの雪は、できるだけ自分で処理されるようお願いします。

なお、河川敷地内にはゴミ、汚物などを投棄しないようにしましょう。

募金の額を決めるのは

毎年、年末に共同募金などいろいろな募金がきますが、たとえば五十円以上と頭から決めてきます。寄付にいくら以上ということはないと思います。なぜですか。

（一町民）

こたえ

町や関係団体が行なっている各種の募金については、町民のみなさんのご協力により社会福祉に大きく役だっています。

ところで、ご指摘の額の根拠ですが、募金の趣旨からいって自由に寄付してもらうのが本旨だと思います。しかし、ある程度の目標を定めなければ、りっぱな事業は推進できません。

それに沿って、戸数、人口、資産などを勘案し、部落町内会などに目標額をお願いするわけです。

このため、最終的にはひとり何円平均といったことにもなります。

共同募金のように若干還元されるもの、歳末助け合いのように全額町内に配分されるものなどさまざまですが、いずれも相互扶助の精神に基づいて恵まれないかたがたを、一日でも早く社会に復帰、厚生させるよう住民運動として行なわれているのが大部分です。

募金そのものに対するご批判もあろうかと思いますが、趣旨をご理解され、いっそうの暖かいご協力を切望します。

（町民課長）



町民の声

お知らせ



■こういう人はいませんか

児童扶養手当は、母子世帯の児童の扶養を経済的に援助する手当です。これは、離婚した母子世帯や、父が死亡（母子年金が支給されていないもの）生死不明、廃疾などの世帯、祖父母が児童を扶養している世帯に支給されます。

また、重度の精神薄弱児、身体障害児をもつ世帯には、特別児童扶養手当が支給されます。

心あたりの人は、役場町民課にお申し出ください。

■農業基本調査に協力を

北海道農業の経営の実態を明らかにし、今後の農業施策の基礎資料にするため、ことしも2月1日現在で農業基本調査が行なわれます。

調査の対象は、耕地面積10ａ以上を経営する世帯と、この1年間に農業生産物の総販売額が5万円以上ある世帯となっています。

調査員が各家庭をおたずねしますので、調査の趣旨をご理解の上ご協力願います。

■郵便貯金7兆円を突破

皆さんからお預りしている郵便貯金の現在高が、7兆7億円に達しました。

ことし1月に6兆円を突破してからわずか11カ月で7兆円の大台を越したわけです。

この巨額の貯金は、大蔵省を通じて国の財政投融資計画にしたがって運用され、住宅、道路、学校、病院の建設など、皆さんがたの暮しをより豊かにして明るい社会をつくるため、おおいに活用されています。

（町内各郵便局）



（3）

不在者投票制度の活用を

わたしたちが政治に参加する唯一の機会は選挙において投票することです。

選挙の当日、投票所におもむいて投票することができない人のために、不在者投票の制度があります。

この制度は、選挙の期日前に投票できるという例外的な取り扱いなので、不正の混入を避けその濫用を防止するため、手続きが細く決められています。

不在者投票ができるのは、選挙人名簿に登録されている人で①投票の当日、他の市町村で仕事に従事中②やむを得ない理由で旅行中③病気や負傷、妊娠、老衰などで歩行困難などの場合となっています。

この場合①仕事に従事中のときは、所属長、業務主②病気、妊娠中のときは、医師、助産婦（指定している病院のみ投票できます）③やむを得ない用務のときは参考になる書類、団体責任者の証明書が必要です。

なお、病気や負傷のため自宅に寝ていて歩行困難な人は、選挙管理委員会に出向いて投票しなければならず、自宅ではできません。

投票できる期間は、選挙の期日の公示または告示の日から投票日の前日までの間です。

統一地方選挙の特例

来春実施される統一地方選挙の特例が次のように決まりました。

道知事、道議会議員の選挙は四十六年四月十一日に執行されその告示日は、知事が三月十七日、道議会議員が三月二十日です。町議会議員、町長の選挙は四十六年四月二十五日に執行され、告示日は四月十八日です。

道知事、道議会議員選挙で候補者となった人は、その区域で町長、町議会議員選挙の候補者となることができません。

また、統一地方選挙に際して後援団体などに対する寄付などの禁止期間は、選挙の期日前九十日から選挙の期日までです。

計画的に処理

し尿処理に協力を

昨年秋ぐちに入り、し尿くみ取りの申し込みが一挙に三百戸近く殺倒し、利用者の皆さんにたいへんご迷惑をおかけしました。

前の広報でもお願いしましたが北桧山のし尿処理施設は、捨て場に捨てるのとちがい化学処理のため、特定の時期に大量処理ができません。

今金町分としては、一日にくみ取り車大型二台、小型二台分の能力で、これは戸数に換算すると普通世帯では、十～十五戸程度になります。

このため、除雪の関係で冬期車の運行不能地区を優先し、そのほかは、実態調査で順位を決めて処理に当たってきました。

今後も改善方法を検討し、ご迷惑をかけないよう努力しますのでいっそうご協力をお願いします。

▽計画性のある正しい生活をさせる。
▽遊び友だちにはつねに関心をもって、つきあいをさせる。
▽不自然な行動がみられるときはすぐ問い正す。
▽夜間の外出はひかえさせる。

冬休み中の少年非行を防ごう

冬休みのあいだは、学校生活から解放された安心感などから非行にはしる子どもがふえる時期です。

非行化する原因には、いろいろあると思いますが、家庭での子どもに対する関心がいちばんたいせつです。

子どもの心理としては、親から無視されたり、放任されたりした場合、非行にはしりやすくなるものです。つねに正しい生活習慣をつけさせるようにしてください。

家庭では次のようなことに注意しましょう。

▽話し合いの場を多くつくる。

農林業センサスで表彰

今金町は、昨年二月一日現在で行なわれた一九七〇年世界農林業センサスで、農林行政施策の基礎資料の整備に寄与したとのことにより農林省から表彰されました。

道内では、江別市と本町の二市町だけです。みなさんのご協力を感謝します。

感謝します

町内の恵まれない人々に少しでも吸かい手をさしのべようーと、町では歳末助け合い運動を行ないました。

この結果、ライオンズクラブの一万円をはじめ、部落町内会長さんを通じて、町民のみなさんから十一万二千二百円の善意が寄せられました。

これは、福祉施設の入所者（三十三人）長期入院者（五十一人）生活保護者（八十六人）寝たきり老人（四人）に贈られ、感謝されています。

"読者の声"を

「広報いまかね」をより町民のみなさんと親しみのあるものにするため、係では読者の声を募集しています。

町政に対する質問、要望、意見、苦情相談、また広報について気づいた点、町の話題写真などなんでもけっこうです。

役場企画室まで住所、氏名明記の上およせください。採用原稿には薄謝を呈します。

発行所・北海道今金町役場　編集・企画室　印刷・長